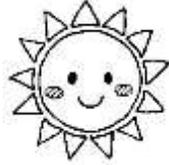


おひさまだより



2025.12.29 (月)

認定こども園みゆき

年の瀬も迫ってきました。寒さが少し和らいている日もありますが、まだまだ続く寒さに負けず、新しい年も元気に迎えたいですね。12月は園内でインフルエンザをはじめRSウイルスなど呼吸器症状の感染症が多く確認されていました。年齢が小さいほど重症化する恐れもあります。引き続き、玩具の消毒や換気で空気の入替えをしながら、蔓延防止に努めていきたいと思えます。

気をつけよう! 冬の感染症

RSウイルス感染症

原因→RSウイルスの感染により起こる集団流行しやすい感染症。特に1歳未満の乳児がかかりやすく、気管支炎や肺炎を起こすこともある。

症状→鼻水や咳などの症状で始まり、呼吸にヒューヒュー、ゼーゼーといった音が出る。重症化すると危険な状態になることもある。

対応→今のところRSウイルスに対する根本的な薬はなく、早めに受診し、こじらせないようにすることが第一。



クレープ症候群

原因→パラインフルエンザウイルスなどに感染し、咽頭に炎症を起こすことで発症する。

症状→発熱やのどの痛みから始まり、犬が吠えるような甲高い咳が出る。

呼吸が荒くなり、喘鳴を伴う。喘息と違って息を吸うときにヒューヒューという音がするのが特徴。

対応→吸入器で消炎剤などを吸入して治療する。悪化すると入院が必要になることも。家庭内では水分を十分に摂り加湿器などで室内の乾燥を防ぐ。



気管支炎

原因→インフルエンザや風邪の炎症が、のどから気管支にまで進んだ状態。

症状→熱が高くなり、たんがからんでゼロゼロという湿った咳が長く続く。

長引くと症状が重くなり、呼吸困難に陥ることも。

対応→水分を十分に摂り室内の感想を防ぐ。また、せきは痰を体外に出すために大切な反応なので、むやみに市販の咳止めを使うのは避ける。



肺炎

原因→ウイルスや細菌が肺に入り込み、炎症を起こした状態。インフルエンザや風邪をこじらせてかかることが多い。

症状→風邪の症状のあと、4日以上高い熱が続き、たんがからんだ湿った咳をしていたら肺炎の疑いがある。

対応→レントゲンを撮って肺炎かどうかを診断する。抗生物質を服用して治療する。状態によっては入院が必要なことも。



溶連菌感染症

原因→A群溶血性連鎖球菌という細菌が原因となる病気の総称。飛沫で感染する。

症状→高熱が出ることもあり、のどの腫れ、嘔吐、頭痛などの症状が現れる。首のリンパ節がはれたり、筋肉痛や中耳炎を起こすことも。その後全身に小さな発疹が出たり、舌に白いこけ状の物がつき、3日くらいすると赤くぶつぶつしてくる(イチゴ舌)。発疹や舌のぶつぶつが出ず、のどが痛いだけの時もある。

対応→抗生物質で治療する。症状が治まったからといって独断で薬をやめたりしない事。

感染性胃腸炎

原因→ウイルス性の感染によるもの。冬はノロウイルス、ロタウイルスが代表的。主に経口、飛沫感染だが、ノロウイルスの場合は食品から感染することも。生後半年から2歳くらいの子が多くかかる。

症状→激しい嘔吐の症状が突然現れ、下痢がそれに続き、発熱もある。ロタウイルスに感染の場合は便が白っぽくなることも。

対応→激しい下痢が続くので、イオン飲料や湯冷ましなどで十分に水分補給をし、脱水症状にならないようにする。症状は2~3日から1週間程度で治まる。

12月の保健指導

1月13日(火)の保健指導は、「からだのしくみ」について行ないます。

12月の保健指導では、「やけど」について行いました。寒い冬は暖房器具などの使用によりやけどが増えます。家の中でどんなものが危ないかを考え、また、やけどの時の対応について確認しました。

1月の当番医

1日(木)	さいとう小児科	924-4150(宝町)		
2日(金)	やすはらこどもクリニック	953-1152(多治米町)		
3日(土)	たかはし小児科	921-0026(三吉町)		
4日(日)	小池病院/小児科	932-3512(光南町)	いわた耳鼻咽喉科クリニック	963-8733(神辺町)
11日(日)	クリニック和田	953-8292(多治米町)	岡本耳鼻咽喉科医院	961-0017(御幸町)
12日(月)	よしだレディースクリニック	954-4455(新涯町)	竹内耳鼻咽喉科	940-4666(春日町)
18日(日)	坂本眼科小児科クリニック	946-6656(大門町)	まつおか耳鼻咽喉科	968-0187(水呑町)
25日(日)	せきもとクリニック	959-2416(西新涯町)	堀病院	926-3387(沖野上町)

小児の休日・夜間の診療については、[福山夜間小児診療所\(年中無休\)084-922-4999](#)で受け付けています。診療時間は19:00~22:30(受付は22:15まで)です。

早めの受診を心がけ、できるだけかかりつけの病院を受診しましょう。

※小児救急電話相談:急な発熱やケガで判断に困ったら、**#8000**へ相談することもできます。